

衆議院議員選挙 ネット討論会 政策比較

都政に対する基本的な考え方

阿部 司

大くま 利昭

田原 聖子

目指すべき将来像

すべての国民が不安なく、安心して暮らせる活力にあふれた国家。誰もが「明日はもっと良くなる」と将来への希望を持ち、それぞれの置かれた環境のなかで夢にチャレンジし、自らの人生を切り開いていける公平公正な社会。

豊かな日本
安心して暮らせる日本

すべての国民に社会保障が行き届き、ケアが希望となる社会。働く人々の賃金が十分に保障され、自由な時間が持てる社会。ジェンダー平等が実現した社会。日米軍事同盟から抜け出し、9条を生かした平和外交が当たり前になる社会。そのためには日本国憲法を全面実施することが必要と考える。

現状認識

政治、経済、社会の諸制度は制度疲労を起しており、激変する国際情勢や超少子高齢化・人口減といった環境変化に対応できていない。その結果、国際社会での地位は低下し、活力を失った我が国は、社会全体が閉塞感で覆われている。より深刻なことは、これらの課題解決をすべき政治が信頼を失い機能不全に陥っている。

豊かさ長期低落
安心安全に暮らせない日本
日本の長期低落

財界や大企業の利益が最優先され、国民の暮らしや中小業者の営業が脅かされている。格差と貧困が広がり、経済も停滞している。軍事費2倍化や敵基地攻撃能力の保有など、憲法9条を踏みにじって、日米同盟絶対の「戦争する国」へと突き進んでいる。政権党である自民党の金権腐敗が極まっており、政治の行き詰まりは深刻。

解決したい課題

喫緊の課題として国民の政治への信頼回復を実現する必要があり、緊張感ある政治に向けて政権交代可能な政治勢力が育っていくことが重要。また、将来不安を取り除くセーフティネットを整え、誰もが希望を持ってチャレンジできる社会実現のため諸制度の抜本改革に取り組む。特に、社会の中核を担う現役世代を元気にしていく。

日本の長期低落を
ターンアラウンドさせること

財界応援の経済から国民の暮らし最優先の経済へと切り替える。日米軍事同盟絶対の「戦争する国」づくりをストップし、憲法9条を生かした対話による外交で平和なアジアをめざす。気候危機打開へ2030年までにCO2排出を60%削減。原発ゼロの日本に。ジェンダー平等の実現で、誰もが自分らしく生きられる社会に。

衆議院議員選挙 ネット討論会 政策比較

都政に対する基本的な考え方

高木 けい

目指すべき将来像

日本列島を強く豊かにする。
「強い国」とは自国で何でもつくり調達できる国。そういう国を目指す。

現状認識

長期デフレによる国民の活力の減退は非常に危機的と感じる。一日も早くデフレ完全脱却をはたすべき。

解決したい課題

デフレ完全脱却憲法改正
豊かさを実感できない経済

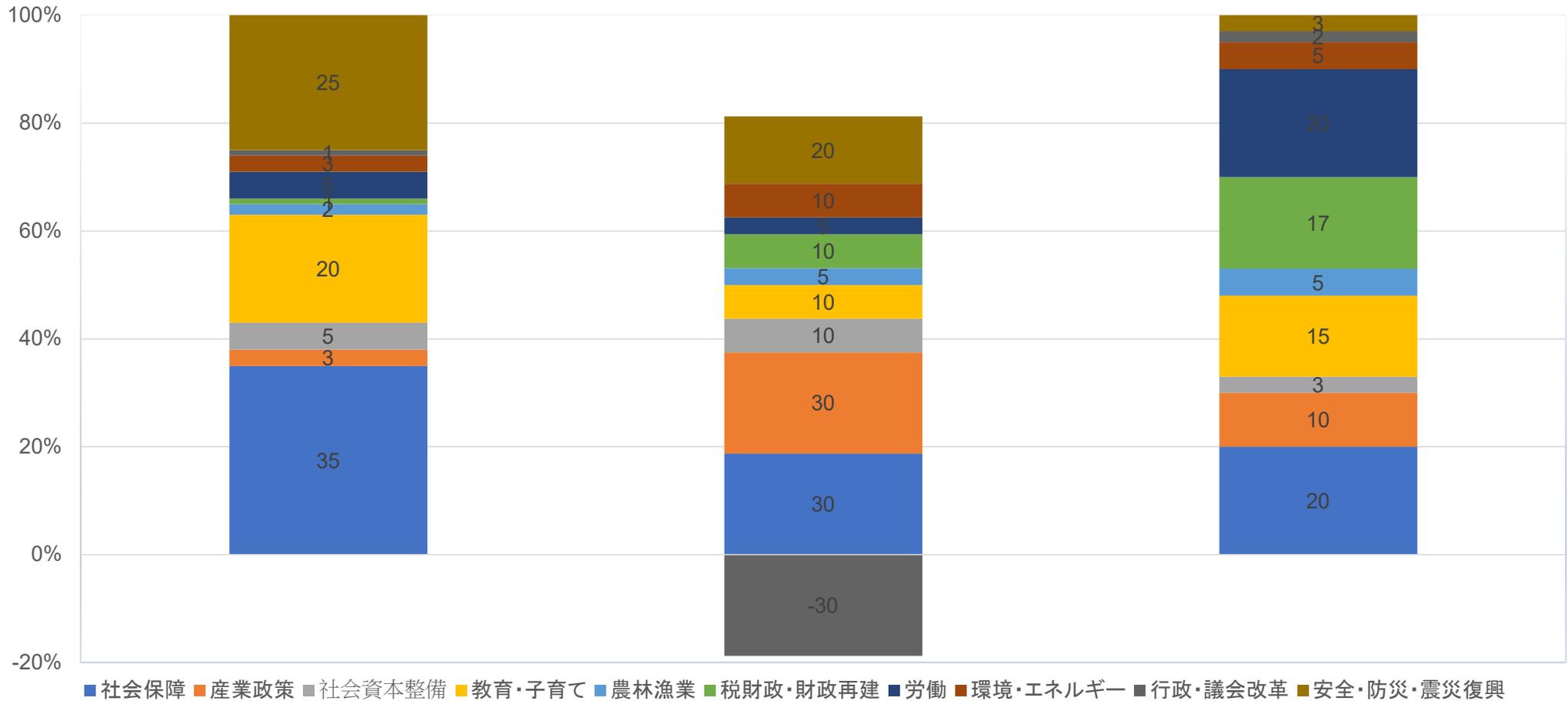
衆議院議員選挙 ネット討論会 政策比較

政策分野の注力度（予算を100ポイント持っているとしたときに、各分野へ）の配分

阿部 司

大くま 利昭

田原 聖子



衆議院議員選挙 ネット討論会 政策比較

政策分野の注力度（予算を100ポイント持っているとしたときに、各分野へ）の配分

高木 けい



課題を解決するための重要政策

第1優先

衆議院議員選挙

ネット討論会

政策比較

課題を解決するための重要政策 第 **1** 優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

阿部 司

大くま 利昭

田原 聖子

政策

小中学校における
学校給食無償化

経済成長

ケアが希望になる政治の実現

数値
目標

全国の小中学校に通う児童生徒の給食費の負担ゼロが実現している
また、独自に給食費無償化に取り組んでいる自治体の過重な財政負担が解消している

年金引き上げ、介護の負担軽減、医療制度改悪の中止

衆議院議員選挙 ネット討論会 政策比較

課題を解決するための重要政策 第 **1** 優先 (「政策分野の注力度」の中で選ぶ)

高木 けい

政策

責任ある積極財政で
デフレ完全脱却

数値
目標

デフレ完全脱却
例えば持続的な物価安定目標
(+ 2%)

衆議院議員選挙

ネット討論会

政策比較

課題を解決するための重要政策 第1優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

阿部 司

大くま 利昭

田原 聖子

期限

2026年度から

2027年までに
軌道にのせること

政権をとればすぐにでも

分野

教育・子育て

産業政策

社会保障

衆議院議員選挙 ネット討論会 政策比較

課題を解決するための重要政策 第**1**優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

高木 けい

期限

2027年まで

分野

税財政・財政再建

衆議院議員選挙 ネット討論会 政策比較

課題を解決するための重要政策 第1優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

阿部 司

大くま 利昭

田原 聖子

予算

5,000億円/年

4.5兆円

手段

目の前にある課題への対応として、給食費国庫負担制度を整備し、国費による小中学校給食の無償化を実現。保護者負担を軽減し、過重負担に苦しむ既実施自治体を支援する。併せて、高度人材育成に向けて大学及び大学院のあり方を再検討し、大学・大学院までの所得制限のない教育費無償化の本格的議論をすすめる。

税制 財政のフル動員

年金はマクロ経済スライドの中止、積立金の活用、最低保障年金の導入などで大幅に引き上げる。介護保険の国庫負担を10%引き上げ、ヘルパー、ケアマネなどの賃金を引き上げ。介護報酬を引き上げ、ヘルパー事業所の経営継続を支援。公費1兆円を投入して国保料の引き下げ。病床削減・統廃合を中止、医師・看護師を増員。

衆議院議員選挙 ネット討論会 政策比較

課題を解決するための重要政策 第 **1** 優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

高木 けい

予算

多ければ多いほど良い

手段

戦略的な財政政策戦略的で責任ある積極財政政策により、経済に好循環を生む。賃金上昇と雇用拡大、個人と家庭が豊かさを実感できる経済を取り戻す。

課題を解決するための重要政策

第2優先

衆議院議員選挙

ネット討論会

政策比較

課題を解決するための重要政策 第2優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

阿部 司

大くま 利昭

田原 聖子

政策

避難所等の環境整備推進

働き方の改革

数値目標

全国市町村において、プライバシーが確保され、女性も安心でき、ペット対応も可能な国新基準に則った快適な避難所が整備されている。

最賃時給1500円以上に。1日7時間35時間労働制の導入

衆議院議員選挙 ネット討論会 政策比較

課題を解決するための重要政策 第 2 優先 (「政策分野の注力度」の中で選ぶ)

高木 けい

政策

国土強靱化

数値
目標

例えば、全国の国管理河川の
災害発生頻度を150年に1
度にする

衆議院議員選挙

ネット討論会

政策比較

課題を解決するための重要政策 第2優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

阿部 司

大くま 利昭

田原 聖子

期限

2025年度から3か年
(緊急に)

政権をとればすぐにでも

分野

安全・防災・震災復興

労働

衆議院議員選挙 ネット討論会 政策比較

課題を解決するための重要政策 第 2 優先 (「政策分野の注力度」の中で選ぶ)

高木 けい

期限

2034年

分野

社会資本整備

衆議院議員選挙 ネット討論会 政策比較

課題を解決するための重要政策 第2優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

阿部 司

大くま 利昭

田原 聖子

予算

3,000億円/年

2兆円

手段

台湾などの諸外国の先進事例を参考にして、トイレ等の衛生面、プライバシーや女性への配慮、ペット対応などが十分なされた避難所ガイドラインを策定。移動式トイレ車両や災害時用テントなどを国が市町村に配備。併せて住環境に優れたコンテナ型の仮設住宅などを開発し、被災地に速やかに整備する体制を整える。

最賃法改正で全国一律時給1500円以上に。その際、大企業の内部留保への課税で10兆円の財源を生み出し、中小企業への直接支援とセットで最賃引上げを行う。「自由時間拡大推進法」をつくり、1日7時間、35時間労働を義務づける。非正規ワーカー待遇改善法をつくり、労働条件の改善、正規化を進める。

衆議院議員選挙 ネット討論会 政策比較

課題を解決するための重要政策 第 2 優先 (「政策分野の注力度」の中で選ぶ)

高木 けい

予算

100兆円

手段

国民の公共事業に対するネガティブな意識を払拭し、公共事業の適切な発注で供給力を高め、安心安全の国土をつくる

課題を解決するための重要政策

第3 優先

衆議院議員選挙

ネット討論会

政策比較

課題を解決するための重要政策 第 **3** 優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

阿部 司

大くま 利昭

田原 聖子

政策

ベーシックインカム導入と社会
保障の抜本改革

教育費の負担軽減

数値
目標

0歳児からすべての国民に一定の現金（高齢者には加算）を給付することで、現行制度上、無年金状態の人がいなくなる等、社会のセーフティネット機能が強化されている。

学費ゼロ、貸与奨学金の返済を半減、学校給食費の無償化

衆議院議員選挙 ネット討論会 政策比較

課題を解決するための重要政策 第 **3** 優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

高木 けい

政策

戦略物資国内生産促進税制の
拡充

数値
目標

GDP1000兆円～1200兆円

衆議院議員選挙

ネット討論会

政策比較

課題を解決するための重要政策 第**3**優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

阿部 司

大くま 利昭

田原 聖子

期限

2030年度から

政権をとればすぐにでも

分野

社会保障

教育・子育て

衆議院議員選挙 ネット討論会 政策比較

課題を解決するための重要政策 第**3**優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

高木 けい

期限

2034年

分野

産業政策

衆議院議員選挙 ネット討論会 政策比較

課題を解決するための重要政策 第3優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

阿部 司

大くま 利昭

田原 聖子

予算

100兆円/年

4.5兆円

手段

フローからストックの考えに基づく税制改正と労働市場の流動化と合わせ、毎月、全国民に一定額の給付を行うベーシックインカム制度を導入する。基礎年金、生活保護、児童手当などの見直しと一体で行うことで全体経費を抑える。社会保障制度をシンプルかつ公平、持続可能なものへと変え、セーフティネット機能を高める。

国立大学の学費値上げは中止、国の責任で学費をただちに半額にし、無償化をめざす。奨学金は、貸与型を改め、給付型を基本にすえる。憲法26条は、義務教育を無償としており、学校給食費は国の責任で無償にする。

衆議院議員選挙 ネット討論会 政策比較

課題を解決するための重要政策 第 **3** 優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

高木 けい

予算

50兆円

手段

半導体・AI・量子などを含むサプライチェーンを国内で完結するため、中小企業も含めた高付加価値化・賃上げを促す税制等で民間投資を刺激し、国の投資を強化する。